

知床五湖の利用のあり方協議会（第26回）

議事録

日時：平成24年3月23日（金） 18:30～20:00

場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

議題：

- (1) 知床五湖利用適正化計画の改定について
- (2) 平成24年度開園準備等について
- (3) 平成23年度モニタリング結果について
- (4) その他

資料：

- 資料1-1 知床五湖利用適正化計画改定案
- 資料1-2 知床五湖利用適正化計画改定案（抜粋）
- 資料2-1 平成24年度知床五湖フィールドハウスレクチャー最終時刻の検討
- 資料2-2 知床五湖ホームページの改訂について
- 資料3-1 知床五湖植生・歩道浸食モニタリング調査結果の報告
- 資料3-2 知床五湖・カムイワッカ地区利用者数等の推移
- 資料3-3 知床五湖駐車場渋滞状況
- 資料3-4 知床国立公園利用者状況
- 資料4 知床五湖園地整備工事実施・計画図
- 資料5 平成24年度知床五湖町民還元キャンペーン（案）

参考資料1 知床五湖の利用のあり方協議会（第25回）議事録

1) 知床五湖利用適正化計画の改定について

環境省：[資料 1-1、資料 1-2 の説明]

環境省：前回第 25 回の協議会で決定した事項を利用適正化計画に反映させていただいた。意見、質問等ないか。特にないようなので、この案で改定する。

一同：了承

2) 平成 24 年度開園準備等について

〈知床五湖フィールドハウスの開館時間等について〉

環境省：[資料 2-1 の説明]

環境省：昨年いただいた知床五湖フィールドハウスの開館時間及びレクチャー時間の課題について、案のとおり再設定させていただいた。意見、質問等あればいただきたい。特にないようなので、この案のとおり、知床五湖フィールドハウスの開館時間及びレクチャー時間を設定する。

〈知床五湖地上遊歩道の開園前除雪について〉

環境省：次に開園前の地上遊歩道の除雪について、歩道管理者のオホーツク総合振興局からお話しいただく。

北海道：関係機関と調整中であるが、4 月 15 日の週あたりで小ループの除雪作業を行う予定。倒木等の確認、設置看板の様子を見て回る。大ループの利用については、この時に積雪状況を見て検討をする。

知床ガイド協議会：知床財団が呼びかけをするのか。

北海道：調整中ではあるがその予定である。

知床財団：除雪作業をボランティア行ってくれる人を、ガイド事業者の方のメーリングリストで流す等、広く声をかける予定。利用調整地区制度という新たな枠組みなので、知床五湖の利用のあり方協議会の構成員の皆様も、参加していただければと考えている。

知床ガイド協議会：除雪作業に併せて、五湖の全周をまわるのはどうか。

環境省：よい考えかと思う。参加できる方は参加する形をとれないか。

北海道：除雪作業の当日か前日にでも大ループの確認を行いたいと考えている。調整し進めたい。

〈知床五湖ポータルサイトの改修について〉

知床財団：[資料 2-2 の説明]

環境省：知床五湖のホームページの改訂版を見ていただいたが、何か意見や感想等はないか。

知床財団：ホームページに関しては、意見があれば随時直していきたいと考えている。気がついた

都度に連絡をいただければ、対応していきたいと考えている。

〈ウェルカム部会からの報告について〉

環境省：次にウェルカム部会から広報等の報告をいただきたい。

観光協会：ウェルカム部会の活動について報告する。昨年 9 月末、10 月頭の JATA 主催の旅博に出展した。また 1 月に東京、3 月に札幌で JATA 主催の知床五湖の旅行商品造成説明会が開かれた。1 月 27 日の東京での説明会は観光協会の松田理事、知床財団の寺山係長、環境省の野川自然保護官の 3 名とひがし北海道観光事業開発協議会の野竹事務局長が参加し、49 名の旅行会社の担当者が集まった。3 月 14 日の札幌での説明会には、松田、寺山、喜来、野竹の 4 名が参加した。説明会においては、知床五湖の魅力と利用法を説明する他、知床と同じくミシュランの三つ星を獲得した観光地である近隣の摩周や阿寒と併せての道東全体を一体として観光できるような、モデルコースの説明をした。昨年度も同様の説明会を開催したが、その際には自由に入れたところに入れなくなった、事前予約ができないといったクレームに近い厳しい反応だった。知床財団による事前予約を調整する仕組みを作るなどして運用した結果、今年度の説明会では終了後に具体的な旅行商品造成に向けた名刺交換の列ができるまでの状況に好転した。その他、2 回の説明会に参加した寺山さんから補足があればお願いしたい。

知床財団：具体的な旅行商品の交渉に入っている。1 シーズン利用調整地区制度を運用したことから、前年の立入状況のデータを旅行会社に渡して、オーバーブックになるおそれのない時期だとか、調整可能であるといったことを示している。8 月 9 月を中心に秋商品の具体的な商品造成の商談が進んでいる。説明会での名刺交換では特にインバウンド系からの興味をいただいているという印象だった。

ガイド協議会：ガイドが付かない植生保護期についてはツアーが造成されているということか。昨年の状況はどうだったのか。

知床財団：今年はいくつかのツアー造成の話をしていただいている。去年はツアーの予約が集まったので五湖の事前予約をするという話はあったが、企画段階でのツアー造成はなかった。今年についても、まだシリーズものでの商品化は見られない。特定のオーガナイザーものが事前予約するという形である。

ガイド協議会：ヒグマ活動期についてはどうか。

知床財団：ヒグマ活動期については以前からつきあいのあるガイド事業者に問い合わせたいと伝えている。事前予約窓口である知床財団に対しての大口の問い合わせはない。

環境省：広報については今後も、ウェルカム部会において相談して進めたい

〈園地整備の進捗報告及び次年度計画について〉

環境省：[資料4の説明]

環境省：今年度行う予定だった高架木道の案内サインについては内容を精査し、来年度に行う。その代わりに来年度予定していたその他サインを前倒して整備した。

観光協会：パーゴラの下部分はアスファルトで舗装するのか。現在、基礎の鉄柱が出ているが、開園までに対応をするのか。そのままでは引っかかってしまうおそれがある。

環境省：鉄柱が飛び出た状態にはしない。基礎の鉄柱部分は養生し、4月20日の開園までにアスファルト舗装を行う予定である。

環境省：舗装工事の終了は4月20日に近い日程になるだろう、パークサービスセンターもフィールドハウスも開園前の準備があると思うが、気をつけながら作業をしてもらいたい。

知床財団：高架木道の入口サインが、トラブルを避けるために重要である。全周回れると思って高架木道の利用をしたところ、一湖までしか行けなかったというクレームは多い。

環境省：今年度エントランスは整備せず、入り口については柱を立てて表示をする形になる。図のS12にあるように、来年度工事で注意書きのサイン等を含めて作成する予定。

知床財団：今年は簡易的に設置をしていたが、ヒグマに対する電気柵は駐車場の回りに設置する工事はしないのか。

環境省：計画図にあるとおり来年度の工事で電気柵の支柱を整備する予定である。

環境省：他に何かあるか。なければ、次の議題に移りたいと思う。

3) 平成23年度モニタリング結果について

環境省：侵食及び植生調査及びカムイワッカ・知床五湖の車両渋滞・混雑状況調査の実施を行った知床ネイチャーオフィスより調査結果の報告をいただく。

知床ネイチャーオフィス：[資料3-1の説明]

環境省：まず、侵食及び植生調査について報告いただいた。知床五湖の利用ルートが変わったことにより、侵食が進んだ箇所もあるようだ。環境省でも高架木道との接続路について泥濘化が見られたことから砂利を敷くなどの対応をした。今後も利用状況が変化することで、侵食がおこる場所もでてくるだろうと思う。早く見つけて対応するようにしたい。ご質問等がなければ、続けて次の説明をお願いしたい。

知床ネイチャーオフィス：[資料3-2,3-3,3-4の説明]

環境省：カムイワッカと知床五湖の車両渋滞・混雑について報告いただいた。ご意見、ご質問等あれば伺いたい。

ガイド協議会：資料3-2での知床五湖利用者数に対するカムイワッカ利用者数の比の関係について、6,7月は40%で8,9月は30%の割合ということだが、6,7月は知床五湖がヒグマ活動期に当たるため、高架木道だけを利用してその後カムイワッカに行く人が多かった。だから数値が高いのではな

いか、と思った。

環境省：その見方はあるだろう。他の調査にて全体的な観光客の動向を見た調査もあるので、それと合わせてみていくと何か分かるかも知れない。

ガイド協議会：知床における滞在時間は決まっています、その中で、組み合わせでどの場所に行くかということがあるのだと思う。

温泉旅館協働組合：資料 3-3 に車両渋滞の表があるが、五湖の渋滞は増えている。団体から個人に移っていることもあるが、この調査で分かるのは五湖に入りたくても入れない人が増えているということだ。駐車場のキャパシティが現状に合っていないということになる。整備をするということは、避けて通れない課題だと思う。調査は続けると思うが、どういう数値、結果になったら駐車場整備に手をつける、と考えているのか。

環境省：傾向としての変化はとらえている。渋滞指数は増えているが、シャトルバス利用者は増えていない。五湖のHPに渋滞の情報を掲載して、バスを利用しましょうとか、利用するとすぐに五湖入れますというようなセットにしてPRすることで、バス利用を促進できるのではないかと考えている。整備は整備と考えるが、何台増やしたらどれくらい混雑が緩和されるのか、というシミュレーションをしてから考えていくことになると思う。以前に話をしたが、管理計画の改訂等準備は進めていく。整備をどのタイミングで、ということについては検討が必要だと思う。

しれとこフォーラム 2 1：人が増えて渋滞が増えているというのなら分かるが、利用したい人が利用できなくて、利用者数が少ないのに渋滞しているというのは、非常に残念だし問題だと思う。駐車場の整備の問題もあると思うが、ガイドの利用の仕方を変える、長時間停車するガイド車両の台数を減らす対応をする必要があるのではないかと。

ガイド協議会：ガイドが留めている車は数台程度しかない。一般利用者の滞在時間が増えていると認識している。渋滞のことでガイドのことを絡めてもらっては困る。

しれとこ・フォーラム 2 1：個人の利用者はそんなに利用時間が増えているのか。

ネイチャーオフィス：8月について言えば、これまでは3湖～5湖は閉鎖していることが多かった。利用調整地区制度を導入し植生保護期は全周を開放しているので、滞在時間が長くなっている。観光客には1、2湖だけでなく、全周したいという方が多い。

環境省：資料 3-3 の一番左側に「五湖開放状況」があり、例年では大ループは閉鎖で小ループだけの利用となっていたが、去年は利用調整地区でレクチャーを受ければ大ループをまわることができたので、その分滞在時間が長くなった。長くなったということは、良質な体験を提供しているということなので、いいことではある。ただ、一方で課題もある。ぜひ、飲食店や旅館・ホテルなどでも、シャトルバス利用を推進するよう、ご協力をいただければと思う。

ガイド協議会：昨年渋滞して、入れないことが分かっていたので、私たちガイドもできるだけ影響のないように工夫した。ガイドとしても渋滞にはまるとツアーに影響する。

知床財団：昨年フィールドハウス発のツイッターをやるようになってからは、渋滞情報を頻繁に流すようにしている。その情報を見て、シャトルバスに乗り換えてきたという方もいらっしまった。我々としてもシャトルバスを利用してもらい、そうするとこんなに楽しい知床の巡り方がある、楽しい滞在ができる、という提案をしていきたい。

ウトロ地域協議会：家族連れが来たときにシャトルバスを使うとなると、かなりの金額になる。五湖に行く、カムイワッカに行くということになれば、フリー切符とかファミリーで乗れるものなどがあれば、バス利用の価値が高まると思う。現状では、この金額じゃ家族みんなで乗れない、やっぱり車で行った方がいいよね、となってしまう。渋滞情報はもっと発信していい。道道に交通情報のあるものがあるが、あそこにも五湖の渋滞情報をだせたらいい。

環境省：道路の電光掲示への表示をしていただいているが、「渋滞何メートル」という表示はできず「混雑」という表示のみになる。国道は土日・連休も対応できるが、道道の電工表示板は土日・連休は操作ができず、情報提供ができない。

エコツーリズム推進協議会：今の議論では、ひかえめな発言が続いていると思う。今までも議論をしていて、こういうことが予想されるというのがあって、モニタリングをした。その結果、実態として裏付けられたということになっている。システムの改良、バスの使い方の改善はあるが、基本的に施設として駐車場台数が足りていない。一步でも二歩でも踏み出してもらわないといけない。斜里町や北海道はどう考えているのか。そこに踏み込まないとお客様の困った状態が続く。具体的に行動を起こさないと、次のステップにいけない。踏み込んだ話をしていただきたい。

環境省：整備の必要性はあるだろうが、準備をする時間が必要。お盆の渋滞を全て解消するのはできないと思うので、知床らしい方法で緩和できるようにしたいと思っている。それには、調整のための時間が必要。今できることは、シャトルバスという手段があるので、それを最大限に利用していくことだと思っている。

4) その他（知床五湖町民還元キャンペーン等について）

知床財団：平成 24 年度知床五湖町民還元キャンペーン（案）というチラシをお配りしているので、みていただきたい。昨年の 10 月 1 日～閉園までも行っていたが、斜里町羅臼町に住んでいる方々の申請手数料は無料にするので、ぜひ地域の方にも知床五湖へ来ていただきたい。手数料は知床財団が負担をする。期間については、8 月 1 日～閉園までということは決定しているが、ヒグマ活動期も含めるかについては、現在検討中である。

ガイド協議会：定員に達し次第終了とあるが、定員とは何人か。

知床財団：利用状況や予算を考慮しての数字となる。多くの方に来ていただきたいと思っている。

環境省：その他、知床五湖登録引率者の方でも考えていることがあるということなので、お伝えいただければと思う。

ガイド協議会：登録引率者の立場でお伝えするが、町民の皆様にヒグマ活動期の知床五湖も体験してもらいたい、と考えている。五湖の利用で、ヒグマ活動期の利用機会を増やすことを考えていて、その実験を行いたい。アンケートと一緒に町民向けの無料の体験会を検討している。

環境省：補足をすると、知床五湖登録引率者審査部会にて、実験的にヒグマ活動期の枠数を増やして、それでシステムがまわるか確認するということをやってみたいという意見があった。その実験に参加してくださるボランティアを町民から募る、という形で体験会を企画したい。企画ができれば紹介をさせていただきたいと思う。

本日の議題は以上である。他にご意見などがなければ、これで第 26 回の協議会を終了とします。ありがとうございました。

(20:15 閉会)